

科目名	現象学的看護学 Phenomenological Nursing		科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	高橋照子, 福井雅彦, 家高洋		必修・選択	選択	開講年次	第1学年
					開講学期	後学期
科目概要	看護を具体的な諸現象から原理的に探究するための方法論として現象学を理解し, 看護学における現象学的方法論について考察することを通して, 現象学的態度を学修する。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護学分野における現象学導入の背景と意義を理解する。</li> <li>2 哲学史における現象学の位置付けや看護と哲学のつながりを理解する。</li> <li>3 現象学の基本概念や現象学的方法論を理解する。</li> <li>4 看護における現象学的アプローチを展望する。</li> <li>5 人間関係(職業的援助的人間関係)のハウツーではなく原理的理解を深める。</li> </ol>					
内 容	1	R5.10.11(水) 6.7【対面】	看護学分野における現象学①	導入の背景と意義	高橋照子	
	2		看護学分野における現象学②	哲学史における現象学の位置づけ, 看護にとっての現象学	高橋照子	
	3	R5.10.18(水) 6【対面】	看護における現象学的研究	現象学的研究の意義, 看護における現象学的態度	高橋照子	
	4	R5.11.17(金) 6.7【対面】	現象学とは?	3人の現象学者の紹介	家高洋	
	5		現象学の基本①	フッサール	家高洋	
	6	R5.11.18(土) 1~4【対面】	現象学の基本②	ハイデガー	家高洋	
	7		現象学の基本③	メルロ=ポンティ	家高洋	
	8		現象学的看護研究①	現象学を手がかりにした看護研究例①	家高洋	
	9		現象学的看護研究②	現象学を手がかりにした看護研究例②	家高洋	
	10	R5.11.30(木) 6.7【対面】	ブーバーの基本思想の紹介①	関係のアプリオリ/原離隔化と関係への参入	福井雅彦	
	11		ブーバーの基本思想の紹介②	我—それ/我—汝/包合	福井雅彦	
	12	R5.12.7(木) 6.7【対面】	ブーバーとロジャーズの対話①	相互性とセラピー	福井雅彦	
	13		ブーバーとロジャーズの対話②	内的出会いと術語の問題	福井雅彦	
	14	R5.12.14(木) 6.7【対面】	ブーバーとロジャーズの対話③	肯定的または両極的なものとしての人間性	福井雅彦	
	15		ブーバーとロジャーズの対話④	受容と確認, 内と「あいだ」	福井雅彦	
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 参考図書や授業内容に関連する文献を十分に読み込んで授業に臨んでください。</li> <li>2 授業では学生のプレゼンテーションを取り入れ, ディスカッションを通してテーマに関する学びを深めていきます。</li> <li>3 授業内容への質問, プレゼンテーション及びレポートの内容についてフィードバックを行い, 学修効果を高めていきます。</li> <li>4 1コマあたり, 90分以上の事前・事後学修が必要となる。</li> </ol>					
評価方法	授業関与, 発表・討議, レポート					
教科書・参考書	テキスト: 木田元著:「現象学」, 岩波新書, (1970/9), 858円(税込) 参考書: <ol style="list-style-type: none"> <li>1 柳澤孝主編:「臨床に必要な人間関係学」, 弘文堂, (2007/12), 2,750円(税込)</li> <li>2 畠中宗一編著:「共に生きるための人間関係学」, 金剛出版, (2020/2), 3,520円(税込)</li> <li>3 ロブ・アンダーソン, ケネス・N・シスナ:「ブーバー—ロジャーズ対話」, 春秋社, (2007/3)絶版</li> </ol>					
履修上の注意点	授業での発言やプレゼンテーションなど, 主体的・積極的参加を求める。					
オフィスアワー	高橋照子: 水曜日 16:10~17:40 C棟5階 教授室3 ※ 兼任・非常勤講師については別紙にて配布する。 また, 下記メールアドレスへのメールで対応することも可能。 家高洋: ietaka@tohoku-mpu.ac.jp					

